

野菜の展望

梅雨入り後の局地的な集中豪雨や梅雨明け後の異常高温から、野菜の生育は不揃いと思われませんが、現在のところほぼ平年並みの入荷になると予想されています。

果菜類の胡瓜は福島産中心に石川・長野・山形産の入荷です、中旬までは順調な入荷が見込まれますが、下旬以降はかなり減少するものと思われれます。南瓜は前半が石川産（能登・金沢・加賀）からの出荷で、旧盆以降は北海道産の入荷となります。茄子は石川産を中心に群馬・山形・福島・茨城産の入荷です。長茄子は石川・群馬からの入荷となります。トマトは岐阜産（飛騨）主体に北海道、旧盆明けからは石川産抑制トマトの出荷が始まります。岐阜・北海道産は上旬に出荷最盛期を迎えます。ピーマンは北海道・長野産の入荷で、前年並みの出回り量になると思われれます。スイートコーンは長野・北海道産の入荷で、北海道産はやや出荷遅れとなっていますが中旬より本格出荷が期待されます。

葉洋茎菜類のレタスは主力の長野県南佐久地区・菅平地区を主力に前年以上の入荷が期待できます。ブロッコリーは北海道産の順調な入荷を見込んでいますが、長野産は入荷減少となります。アスパラは長野産の夏秋タイプが主力の入荷です。キャベツは長野・群馬産の入荷ですが、長野産は作付面積が減少するため、群馬産のウエイトが高まります。白菜は、長野県南佐久地区の入荷となり、前年以上の入荷となる見込みです。ほうれん草は岐阜産（飛騨）を中心に、石川・北海道・長野産の出荷で高温の影響から入荷は不安定となりそうです。葱は石川産がメインとなり、他に埼玉・青森・北海道産の順調な入荷が見込まれます。小葱類は博多万能ねぎを中心に愛知・静岡・北海道の入荷となりますが、高温期に入り生産量はやや減少傾向と見られます。

根菜類の大根は北海道主体に岐阜・青森産高冷地物の入荷で、北海道産は播種が遅れていたものの回復傾向にあります。人参は上旬はやや不安定な入荷ですが、下旬からは北海道主力に青森産の順調な入荷を見込んでいます。蓮根は石川産露地物、愛知産ともに生育遅れが目立ちます。甘藷は静岡産の入荷で、潤沢な入荷が見込まれます。生育遅れの石川産は個人物が上旬、共販物は旧盆明け下旬からの入荷となります。

菌茸類の生椎茸は石川県菌床物中心の入荷ですが、高温期に入り下位等級品の発生比率が高まる予想です。なめこ・えのき・しめじ等、他のきのこ類は非需要期に入り減産体制をとっていますが、集荷に万全を期して参ります。松茸は中国産を主力に、韓国・メキシコ産の入荷で高品質での出回りが期待できます。国産は岩手・長野からの入荷となります。

土物類の馬鈴薯は前半が石川産（能登）主体で、上旬には一部北海道産の出荷も始まり、旧盆以降は北海道産の本格入荷となります。玉葱は兵庫産主体に石川・佐賀産、旧盆前後には北海道産極早生も入荷いたします。長芋は、北海道・青森産の入荷で貯蔵量は多く価格安が予想されます。生姜は高知産主体に潤沢な入荷となります。

猛暑による消費不振も相まって厳しい販売環境となっていますが、夏休み・旧盆の需要期であり、拡販へのご協力をお願いいたします。

《野菜第一部 田中昭市》

果実の展望

今年も猛暑の影響により、西瓜等は好調な動きを見せています。そこで「納涼」を果実訴求のテーマとして、販促をお願いいたします。また、今後、発生する台風の影響で出荷状況に変更がある場合がございますので、気象情報には注意が必要です。

西瓜は県内産でJA志賀を主力として2L中心に20日頃迄の入荷予定となっています。他に、長野・山形産の入荷も予定しています。

瓜類は静岡・高知・石川産のアールスメロンの他、北海道産の赤肉メロン(ルピアレッド)・青肉メロン(らいでんクラウン) 山形産のアンデス等の入荷となります。北海道産の赤肉メロンは中旬にかけて端境期となり、やや減少となる見込みです。

桃は山梨・和歌山・福島・長野・石川産の入荷となり、昨年に比べて3～5日程の遅れが予想されます。

梨は県内産がJA金沢市・松任・加賀から入荷します。各産地ともに昨年より2～3日の遅れが予想されます。県外産は福岡・佐賀・和歌山産の出回りで、32玉・36玉中心の入荷見込みです。ぶどう類のデラウエアは、県内産の切り上がりが早くなるため、旧盆前には山形産中心の出回りとなります。また、盆後についても山形産の露地物を主力として入荷します。巨峰は長野・石川産の入荷で、主力の長野産は盆前頃より増量となる見込みです。石川産は年々増えている種無し巨峰が金沢地区から順調に出回ってきます。アレキサンドリア(マスカット)は岡山産の入荷となります。

ハウスみかんは愛知・佐賀・福岡・徳島産等の入荷予定で、全体的に小玉傾向で、S・M中心の玉流れとなります。主力の愛知は出荷量が前年の105%と多く、佐賀産も安定入荷が予想されます。

いちじくは愛知・石川産の入荷予定です。愛知産については、早ければ中旬より露地物の出回りが予想されます。県内産については月初めよりハウス物が出荷され、露地物については20日以降の入荷見込みとなり、その後より徐々に増量となります。

りんごは青森・長野・石川産(つがる・ジョナゴールド・祝等)の入荷となります。

輸入果実については、主力のバナナがフィリピンより順調に入荷する予定ですが、小房中心の入荷となります。グレープフルーツは南アフリカ産を中心に安定した入荷が見込まれます。レモンは、チリからの安定した入荷となります。オレンジはオーストラリア産ネーブル種に加えて、南アフリカ産バレンシア種の入荷が予想されます。パイナップルは、ゴールデンパイン・スィーティオパインの順調な入荷となります。その他にもニュージーランド産キウイフルーツ、カリフォルニア産のハネジューメロン、メキシコ産のマンゴー・アボカド等が入荷します。

今月につきましては盆商戦を控えておりますので、何卒一層の拡販をお願いいたします。

《果実部 大西信哉》